

かんぼ生命ドリームカップ

第39回全日本バレーボール小学生大会 京都府大会開催要項

| | |
|-----------|--|
| 主催 | 公益財団法人 日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社 |
| 後援 | 公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団／報知新聞社／以下申請) 京都府教育委員会／京都市教育委員会 |
| 特別協賛 | (公財) 京都府スポーツ協会 京都府スポーツ少年団／(公財)京都市スポーツ協会 京都市スポーツ少年団 |
| 協賛 | かんぼ生命 |
| オフィシャルボール | デサントジャパン株式会社／ゼビオグループ |
| 主 管 | 株式会社モルテン／株式会社ミカサ |
| | 京都府バレーボール協会／京都府小学生バレーボール連盟 |

- 大会の主旨**
 - (1) 教育的配慮のもとに、バレーボールを通じて全国児童の親睦と交流を図る。
 - (2) バレーボールによる小学生の体力の向上とたくましい意欲の養成に努める。
 - (3) 低年層から正しいバレーボールの基本技とチームプレーを体得し、楽しいゲームができるよう指導する。
- 開催期日と試合会場**

第1日 平成31年6月8日(土) ハンナリーズアリーナ・スポーツ会館体育館
第2日 6月9日(日) ハンナリーズアリーナ・スポーツ会館体育館
両日ともに、受付は会場準備の終了後となる。なお各チーム大人1名は会場設営に協力すること。
受付終了後1日目は開会式、2日目は開始式を行う。2日目の男女・男女混合決勝戦終了後、表彰式・閉会式を行う。
※各支部大会は、各支部において4月21日(日)～5月26日(日)の期間に開催される。
- 参加資格**
 - (1) 平成31年4月1日に12歳未満の者で、5月1日現在、京都府内に設置されている国・公・私立の小学校に在籍、あるいは京都府内に在住している者であること。
 - (2) 選手及びベンチスタッフは、公益財団法人日本バレーボール協会加盟団体登録規定に基づき、平成31年4月1日以降、京都府大会参加申込締切日(下記参照)までに、JVA-MRSの登録を済ませること。
(厳密には、女子については支部予選会の申込締切日までとなる。)
尚、スポーツ少年団に加盟しているチームも、同様の手続きを済ませること。
- 参加規定**
 - (1) 女子の部は、京都府大会への参加チームは支部(ブロック)大会の結果、支部代表として推薦されたチームであること。
支部の代表数は、登録団体数3につき、1代表とする。
男子及び男女混合の部は、規定を満たしていれば支部大会の結果に関係なく、参加することができる。
 - (2) 監督の責任において、選手保護者から大会参加の承諾を得た上で、大会に参加すること。
- チーム編成**
 - (1) 京都府大会参加チームは、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする。
 - (2) 監督は成人であること。また、ベンチスタッフのうち1名以上は公益財団法人日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟が共催する全日本小学生バレーボール指導者二次講習会受講者か、公益財団法人スポーツ協会認定のバレーボール指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチのいずれかの資格を有した者でなければならない。また、証明書等を試合時には胸に下げていなければならない。
 - (3) 女子チームの監督1名・コーチ1名・マネージャー1名は、二重登録とならない限り支部大会から変更できるが、選手12名は、支部(ブロック)大会と同じ者とする。但し、支部(ブロック)大会に11名以内で出場した場合は、12名に満たない人数のみ補充することができる。また、病気・ケガなどの特別な場合は、主催者が確認の上、交代することを認める。但し、補充・交代は参加資格を満たし、既に申し込まれた同一団体内に登録されている選手に限る。
 - (4) 男女混合は新カテゴリーに正式に登録し、種々の規定条件を満たしたチームであること。
また、選手は男女のエントリー(支部大会を含む)と重複できない。条件は日小連のホームページで確認すること。
 - (5) 全国大会に参加するチームのベンチスタッフは公益財団法人日本スポーツ協会認定のバレーボール指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチのいずれかの資格を有した者でなければならない

※京都府大会に参加する選手はそのまま全国大会に出場することとなるので、チーム編成には十分に注意すること。
※京都府内のみの規定として、主催者が確認の上、カテゴリー登録が別で活動母体が同一の団体については、どちらかの監督であっても兼任を認める。但し、監督を兼任することはできない。試合への参加は6人制競技規則に準ずる。
- 競技規則** 2019年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
- 競技方法** 男女とも2日間を通したトーナメント方式にて実施し、最終試合を決勝戦とする。
- 使用球** 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボール「モルテンボール(V4M5000-L)／ミカサボール(MVA500)」(円周62～64cm・重量200～220g)を使用する。
※ボールの内気圧については6人制競技規則に準ずる。
- 表彰** 男女各1位から3位まで表彰する。(男女混合は参加チーム数による)
※京都府大会の結果、男女及び男女混合1位チームは、かんぼ生命ドリームカップ第39回全日本バレーボール小学生大会〔8月6日(火)～9日(金)川崎市とどろきアリーナ 他5体育館〕への出場する権利と義務が生じる。
- 申込** 各チームは所定の京都府大会申込用紙を3部作成し、そのうちの2部を、5月28日(火)【必着】までに大会事務局(下記)に送付のこと。
また、JVA-MRSチーム加入選手一覧を1部プリントアウトして、申込書と同時に送付すること。
※締切日以降やFAX・電話による参加申し込みは、いかなる事情があっても一切受け付けない。
- 参加料** 1チーム 7000円 ※口座振り込みをすること
郵便振替口座〔00980-3-140853 京都府小学生バレーボール連盟〕
※『大会名』『チーム名』を記入すること
- 代表者会議と抽選会**

6月1日(土)午後7時より、京都アスニー(第3研修室)にて行う。
チーム代表者1名は必ず出席のこと。(会場の都合上、選手の代表は1名のみ出席可能)
やむを得ず欠席する場合は、チームの責任でホームページにて組み合わせ等を確認すること。
- その他**
 - (1) 大会期間中に選手が負傷したとき、応急手当(医師にみせるまでの応急処置)はするが、それ以上の責任は負わない。
 - (2) 各チームはスポーツ安全保険に必ず加入すること。
 - (3) 選手はチームで統一されたユニホーム(上下)を着用すること。ソックスについても色や長さをそろえること。
(極端に短いソックスは使用不可とする)
 - (4) 背番号は1～99とするが、1～12番の番号が望ましい。また、ユニフォームの背番号等の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し誰もが見えやすいものにする。
 - (5) 監督、コーチ、マネージャーの服装はチームで統一され、短パン・Tシャツは不可とする。また、監督、コーチ、マネージャー章を必ず左胸に付け、シャツはズボンの中に入れること。
 - (6) 指導者は競技規則を熟知した上で大会に参加すること。合わせて、大会運営上、相互審判となるので、チームに主副審を務めることができる成人を2名以上有すること。
- 大会事務局** 〒612-0049 京都市伏見区深草中ノ島町5-23 富田博二宛 (TEL・FAX 075-647-7980) 自宅なので電話は時間帯等を考えてください。
(E-mail: hkys-tomita@tempo.ocn.ne.jp)